

みんなで作る やさしいまち

～ 聞こえない人と聞こえる人の相互理解のために ～



青森県立木造高等学校美術部イラスト同好会
つがる市福祉部福祉課

耳が聞こえない、もしくは聞こえにくい障害を、聴覚障害といいます。

聴覚障害者は、外観からは障害があるかどうか判りません。

このため、聞こえない人が

駅のアナウンスや、防災無線が聞こえずに困っていたり、

後ろから来る自転車のベル音に気がつかなくて怖い思いをしても、

周りの人は気づきません。

はじめに

この冊子では、聴覚障害者の普段の生活を少しだけ紹介しています。

聞こえない人と街で出会ったら、

どんな方法でコミュニケーションすれば良いか、

身振り手振り、筆談、スマートフォンの画面など、自由な方法で本人に尋ねてみてください。

きっと、あなたとそこに合う方法が見つかるはずです。



目 次

気づかない	1
誰か…くる…?	2
会話はキャッチボール	3
よりそう手（話）助け	4
テレビの音を消してみる	5
拾っただけなのに	6
手話とマスク	7
バスにて	8
見えることで変わることに	9
手話弁論大会	10
本当の私	11
病院で	12
口のカタチ	13
コンビニ	14
字幕放送	15
踊り場	16
耳の日のつどい	17
子育て	18
足音	19
明日から夏休み	20
運転免許の講習	21
夜間点灯	22
身近なところから	23
手話通訳の仕事	24
制作後記	25

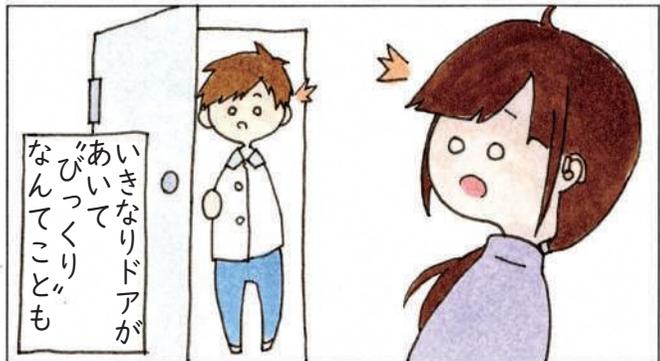
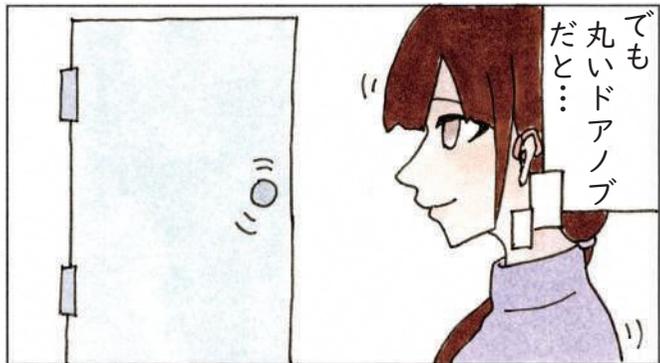


気づかない



○聞こえない人に話し掛けるときは、正面から合図して話し掛けてください。後ろから声を掛けられても気がつきません。

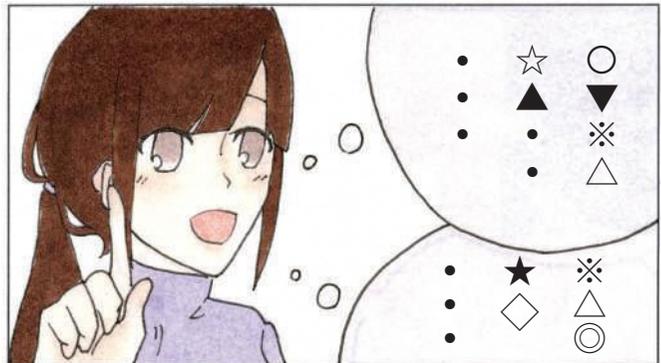
誰か…くる…？



○丸形のドアノブは動きが判りにくいので、ドアが突然開いたように感じます。

○ろう者のなかには、来客時以外はドアをいつも開けておくという人もいます。

会話はキャッチボール



○ 会話はキャッチボールです。投げるばかりではキャッチボールは成立しません。

○ ろう者、難聴者、中途失聴者。それぞれの状況は違いますが、手話のほかに、口話（口の動きを読み取る）、筆記（紙に書く）、身振りやジェスチャーなど、私たちは相互にいろいろな方法で意思疎通ができるはずですよ。

話 よりそう手助け



○耳の聞こえない子どもは、家族団らんの子に孤独を感じることがあります。特に複数の人が同時に話をしていると、口のカタチを読み取ることが困難になります。

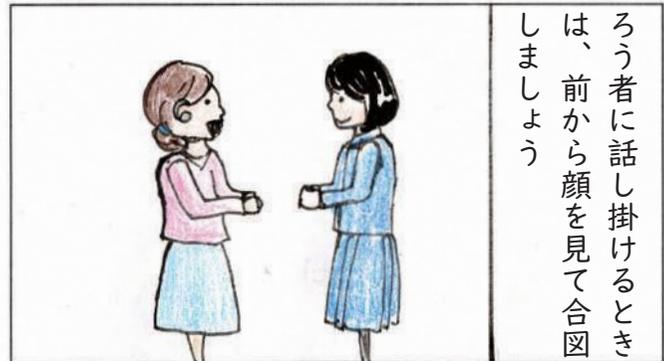
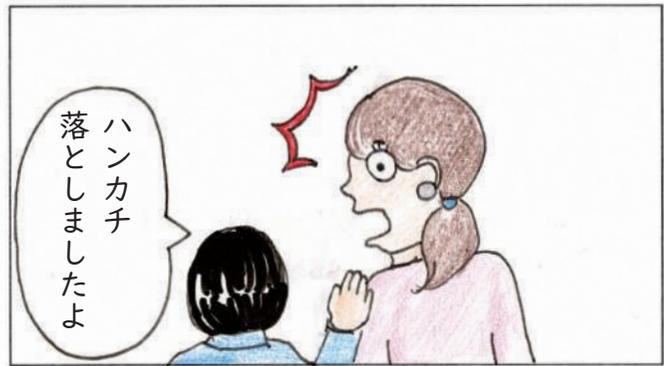
テレビの音を消してみる



○ テレビの音を消して、話している人の口の動きを見て、言葉を読み取ってみてください。どれくらいわかるでしょうか？

○ 聞こえる人も、聞こえない人も「お互いに理解しようという気持ち」、これが相互理解のスタートです。

拾っただけなのに

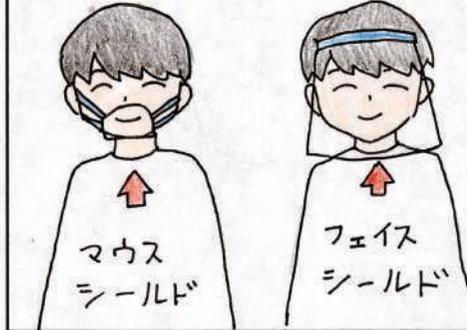


○大きな声で呼びかけても返事がない場合は、その人が聴覚障害者（聞こえない人）かもしれないかもしれません。

○聞こえない人に話し掛ける時は、手を大きく振って相手の視野に入るようにすると良いです。

手話とマスク

手話通訳者は
口元が見える
ようにしています



手話は、手指の動き
だけではなく、表情
や口の動きなどから
も情報を読み取る
ものだからです



口元が見えないマスク
だと、手話を使っても
通じないときがあり
ます



ろう者の方と会話を
する時は、口元を見せる
とスムーズにコミュニ
ケーションをとること
ができます!



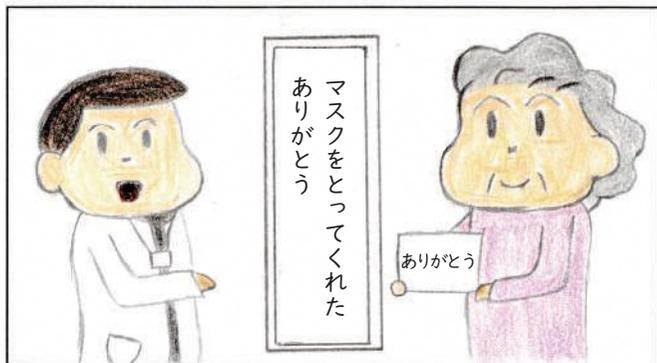
○聞こえない人のコミュニケーションにおいて、相手の顔が見えるということはとても重要です。手話を使う場合でも、表情や口の動きをよむことで、情報をより正確に把握することができます。

バスにて



○手話は「見える」言語なので、ガラス越しに離れている場合や、周りの音が大きくて声が聞こえにくい場所でも会話ができて便利です。

見えることで変わること



○ 緊急時に、手話や筆談で対応してもらえると、とても安心できます。

○ つがる市消防本部では令和3年2月から、聴覚や言語機能に障害がある方を対象としたスマートフォンによる119番緊急通報システム「ネット119」を運用開始しました。

手話弁論大会

でも頑張ろう

手話での発表
緊張するな



あっ電気が
消えた



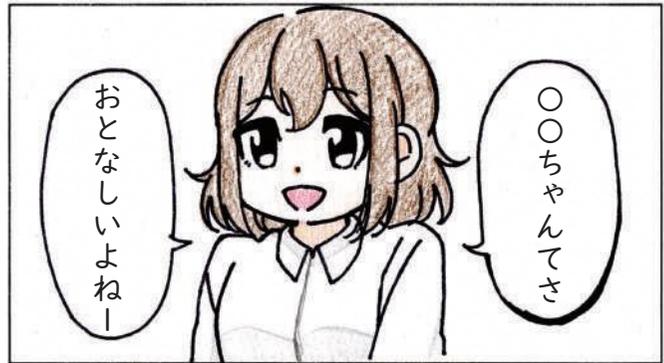
まもなく
開会致します

司会



○聞こえない人が多く参加する集会などでは、会場の照明を点滅させることで開会の合図として
います。

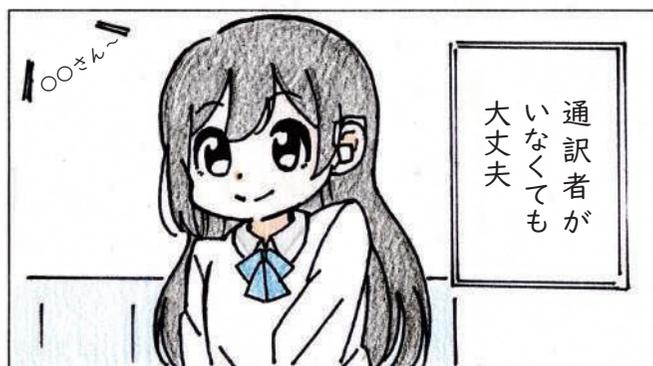
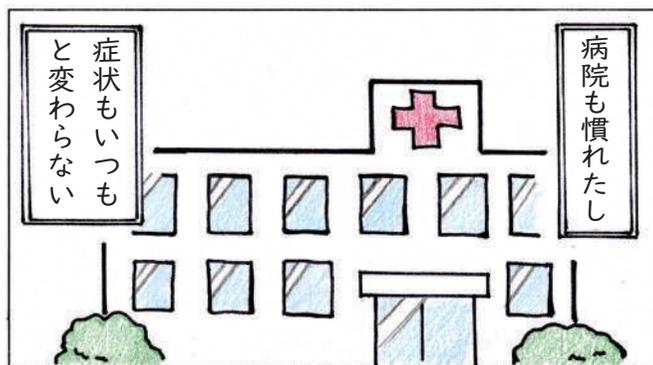
本当の私



○聞こえない人とのコミュニケーション方法は手話だけではありません。口話（口の動きを見せて読み取ってもらう）、空書（空中に文字を書く）、筆記（紙に書く）、スマホの画面に入力して見せる）、身振りやジェスチャー、そして笑顔。

○あいさつの方法が判らないときは、一步あゆみ寄り、笑顔で手を振ってみましょう。

病院で



○ろう者が病院で受診する時には、手話通訳者の派遣を依頼することができます。

○医療現場では、インフォームドコンセント（医師が診療の内容を説明し、患者さんの納得を得てから治療すること）が必須ですが、筆談だけでは時間もかかり、また患者さんの状態を聞き出すことも容易ではありません。手話通訳者は、聞こえない人と聞こえる人とを繋ぐ重要な役割をはたしています。

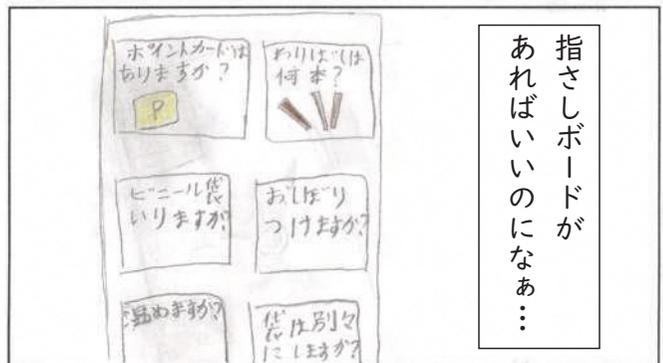
口のカタチ



○「ジュース」と「牛乳」。発音するときの口のカタチは同じです。

○聞こえない人が口のカタチ（口の動き）を読み取っているときは、普通の話し方より少しゆっくりめに、文節で区切るように話をしてください。

コンビニ



○コンビニでは「袋は必要ですか？」「温めますか？」「などのやりとりがあります。店員さんの口のカタチを読み取って意思表示しますが、うまく伝わったか不安なときもあります。

○新型コロナの影響で、店員さんはマスクを着けていますので、口のカタチが読み取れず、何を聞かれているのが全くわかりません。

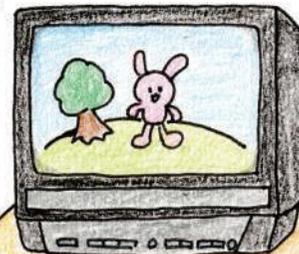
字幕放送

三十年前…

どんなテレビ
なんだろう？
アニメかな？



なにを
はなしてるか
わからない…
つまらない…



現在

だいすき!
ちびっこ
うさちゃん



セリフが
判って、
子どもと
一緒に
楽しめるわ



○聴覚障害者や高齢者に対する情報のバリアフリーを推進するため、2000年に「リアルタイム文字放送」が開始されました。

踊り場

学校の階段
の踊り場

上から人が来る
かどうかは視覚
だけでは判別
できません

階段を下りてくる
人に気づかず、
はちあわせたとき
にびっくりして
しまいます

ろう者の家は
階段の踊り場
に鏡があり
ます

誰か
下りてくる！

鏡があると階段
を下りてくる人
に気づき、安心
します

お先に
失礼します

○階段は障害者や高齢者にとって衝突や転落の危険性が高い場所です。

耳の日のつどい



○ 3月3日は「耳の日」です。全国各地では、聴覚障害及び聴覚障害者への理解を深めることを目的とした「耳の日のつどい」が開催されています。

○ 手話のできない健聴者は、大勢の方が手話で会話している状況に置かれると大きな疎外感を感じます。しかし、聞こえない人たちは、音声情報にあふれた街で日常的に、この疎外感を感じながら生活しています。

子育て



○夜泣きお知らせランプは、聞こえない人の育児を助けてくれます。鳴き声を感じるとランプが点滅したり、腕時計が振動する仕組みです。今後ますます技術が進んで、聞こえないママやパパにも便利な機器が増えればいいな、と思います。

○大きな音に反応する仕組みなので、パパのイビキやくしゃみに反応するときもあります(笑)

足音



○聴覚障害とひとことで言ってもその状況には違いがあります。補聴器をつければ会話が聞き取れる人、補聴器をつけると大きな音はわかるが会話は聞き取れない人、補聴器を使っても会話は聞き取れない人、片方の耳はよく聞こえるけどもう片方の耳が聞こえない人など、聞こえ方はさまざまです。

○聞こえない人とのコミュニケーションに「一つの完璧な方法」はありません。どのような方法がよいか、どんな配慮をすればよいか、本人に教えてもらうのが一番です。

明日から夏休み

ろう学校寄宿舎

明日から
夏休みかあ
家に帰るの
うれしいなあ

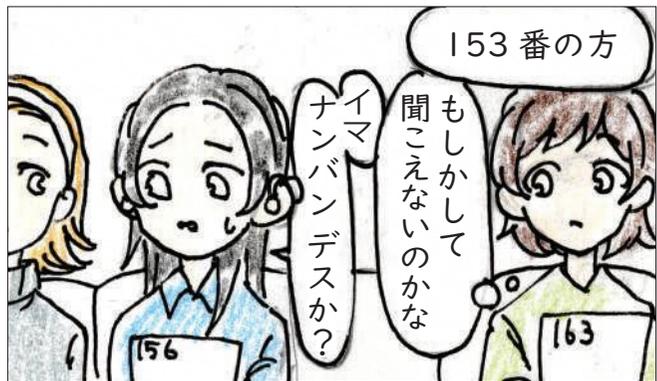
小さい頃には
聞こえないことを
馬鹿にされたりも
したんだよね…

でも
大好きな家族と会える
おいしいもの食べたり、
遊んだりしたいなあ

よし、
帰ったらいっぱい
楽しむぞー！

- ろう学校は、聴覚障害の子どもを対象にした学校です。青森県内には、ろう学校が3校あります。
(青森市、弘前市、八戸市)
- 自宅から遠くて通学が困難な子どもたちは、親元を離れ学校の寄宿舎で生活しています。

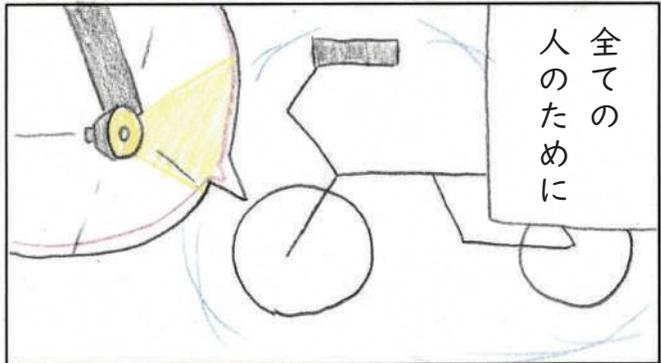
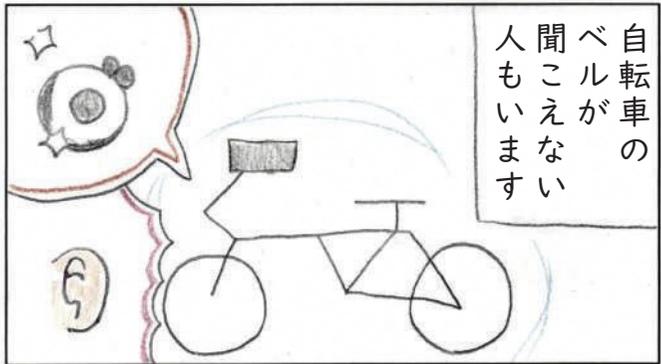
運転免許の講習



○運転免許の更新や、病院、銀行などで待っているときに呼ばれても、聞こえないのでわかりません。近くにいる人が教えてくれればとても助かります。

○最近、電光掲示板（番号表示器）や振動式呼び出し器などで知らせてくれる店舗も増えています。

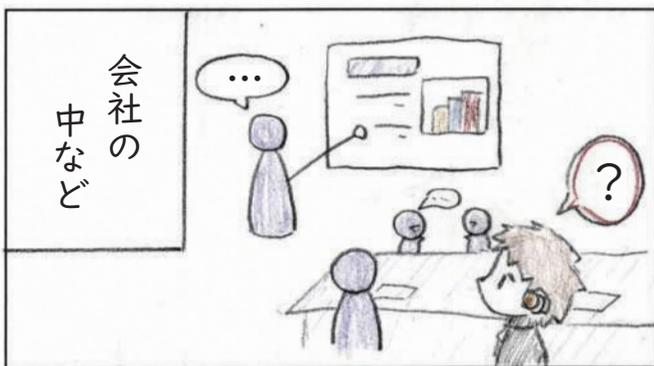
夜間点灯



○自転車のベル、車のクラクション、救急車のサイレンなどに気付かないことがあります。

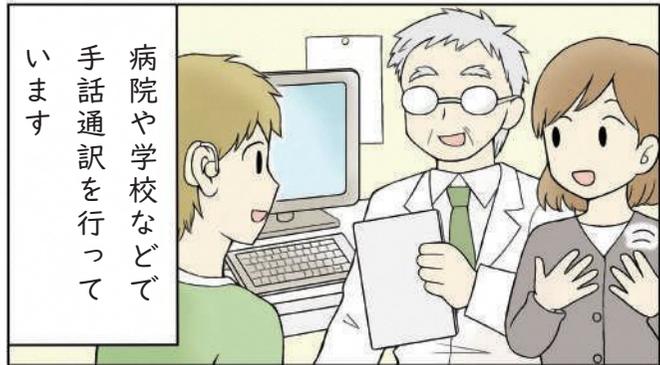
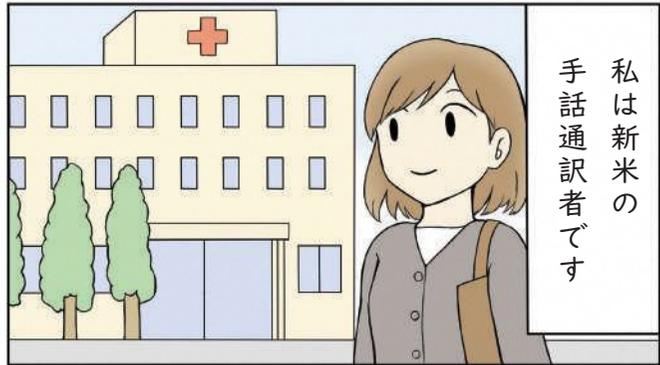
○自転車や自動車を運転する時には、歩行者の中には「聞こえない人もいます」ということを思い出してください。

身近なところから



○電車が止まったときアナウンスが流れますが、聞こえないので何を言っているか分かりません。情報がないと、とても不安です。

手話通訳の仕事



○手話通訳者は、ろう者と聴者がお互いにコミュニケーションを図れるように「手話」を使って「通訳」を行う仕事です。

○通訳をして、聞こえない人と聞こえる人の双方から感謝の言葉を頂いたときには、「手話通訳は、両者のためにある」と感じてもらえたかな、と嬉しくなります。

制作後記

三年 白戸 琴弓

手話啓発4コマ漫画を制作するときに、ろう者の方とお話をし、手話のことや、ろう者の方の生活について知ることができました。自分が学んだことを4コマ漫画で伝えられるように、工夫して制作できたと思います。

三年 白戸 佑奈

漫画制作の依頼を受けて、初めての試みだったこともあり緊張しました。この漫画を描くことで聴覚障害者の方々の様々な事情を知ることができ、参加して良かったと思います。制作に協力してくださった皆様に感謝します。

三年 三橋 美優

今回、ろう者の方をテーマにした4コマ漫画を制作したことで、耳が聞こえないことは普段生活していく中でもとても大変だということが分かりました。4コマ漫画を通して、手話やろう者の方との関わりに興味を持ってもらいたいです。

二年 一戸 亜美

人生初の4コマ漫画の制作だったので、ふき出しの配置や読み手の視線誘導を意識するなど、慣れないことも多かったのですが、ろう者の方への理解を含め、学ぶことがとても多くて楽しかったです。

て、とても苦労したのは、「如何にして伝わりやすく描くか」です。展開や様子が伝わりやすいように線を簡略化し、シンブルに描きました。頑張って描いたので、読んでくださった方々に伝わっていると嬉しいです。

二年 神 桃如

この作品を制作するにあたって、ろう者の方がどんなことに困っていて、それに対して私たちがどのように接すればいいのかを改めて考えることができました。この作品を通して、ろう者について、また私たちにできることは何かという考えを持つきっかけになれば良いと思います。

二年 木村 愛斗

4コマ漫画というものは制作したことが無かったのですが、楽しく描くこ

二年 木村 綾花

手話啓発4コマ漫画を描くにあたつ

とができました。普段はあまりこのようなことを考える機会が無いので、今回の作品制作で皆さんと一緒に「全ての人にやさしい世の中」について考えていけたら良いと思っています。

◇

二年 白取 仁 識

今回この手話啓発4コマ漫画制作に携わらせていただいて、自分の感覚では分からない「耳が聞こえない」という難しい内容ではあったのですが、自分なりの考えで完成させることができました。自分はまだあまり描くのがうまい方ではないのですが、楽しんでいただけたら幸いです。

◇

一年 三上 美音

今回、手話啓発4コマ漫画を描いてみて、学んだことや考えさせられることがたくさんありました。その中の一

つとして自分にとっては当たり前のことでも、当たり前とは限らないということを確認できました。

◇

一年 古川 しおり

ろう者の方の生活の中での悩みなどの普段あまり知る機会のないことを知ることができ、4コマ漫画を描いている間はとても新鮮な気分でした。

◇

一年 澁谷 歩 性

この4コマ漫画を描いてみて、改めて手話がろう者の方々にとって、大切なコミュニケーションの手段になっていることに気付けたので、私も積極的に覚えて、少しでもろう者の方々の心の支えになりたいと思いました。

◇

一年 小野 日真里

私の周りには聴覚障害の方がいなかったのですが、じっくり考えた事がありませんでした。今回は、4コマ漫画をきっかけに考える事ができたので良かったと思います。また、コミュニケーションをとる時はサポートする事が大切だと思いました。

◇

一年 須郷 碧 日

私は4コマ漫画を描くときに、手話についていろいろ調べました。そこで手話について知り、手話を覚えたいと思いました。私たちが制作した4コマ漫画を読んでもらい、一人でも多くの人に手話に興味を持ってほしいと思っています。

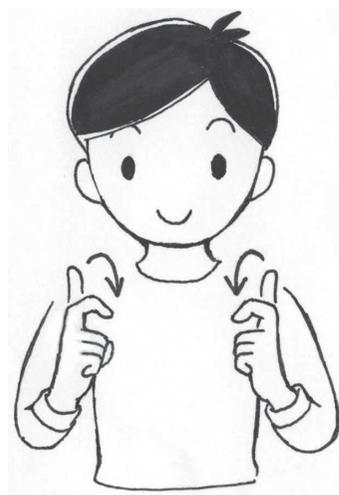


手話で挨拶してみよう

ありがとう



こんにちは



おつかれさま



アイ・ラブ・ユー
I LOVE YOU



著作 青森県立木造高等学校美術部イラスト同好会
青森県つがる市木造日向 73-2

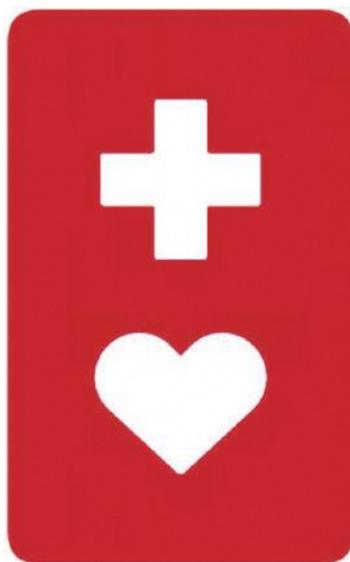
発行 つがる市福祉部福祉課
青森県つがる市木造若緑 61-1

令和 3 年 3 月 3 日 発行

配慮を必要としている方のための ヘルプマークの普及に取り組んでいます。

外見からは分からなくても援助が必要な方がいます。

このマークを見かけたら、電車やバスで席をゆずる、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。



電車・バスの中で、席をお譲りください。

外見では健康にみえても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。また、外見からは分からないため、優先席に座っていると不審な目でみられ、ストレスを受けることがあります。

駅や商業施設等で、声をかけるなどの配慮をお願いします。

交通機関の事故等、突発的な出来事に対して臨機応変に対応することが困難な方や、立ち上がる、歩く、階段の昇降などの動作が困難な方がいます。

災害時は、安全に避難するための支援をお願いします。

視覚障害者や聴覚障害者等の状況把握が難しい方、肢体不自由等により自力での迅速な避難が困難な方がいます。